

初山の獅子舞とは

初山獅子舞保存会が継承に取り組んでいる県の無形民俗文化財に指定されている伝統芸能であり、江戸時代初期には存在していたとされている。今日では、菅生神社(宮前区菅生)の10月最初の日曜日の例大祭に行なわれており、天狗面の幣負いに先導されながら、町内を練り歩き、祭場へと現れる。

その後、境内に設けられた円形土俵を舞場として、2頭の雄獅子(おじし)(巻獅子、剣獅子)が雌獅子(めじし)(玉獅子)をめぐって葛藤する「雌獅子隠し」のストーリーを持った曲目が、金棒引きや笛の吹き手、唄い手による音楽とともに披露される。



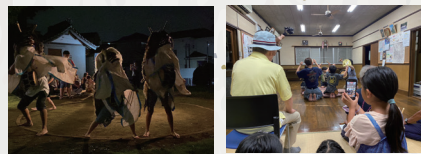
初山の獅子舞の動画はこちら(宮前区HP)

宮前区の小学生・動画クリエイターが、初山の獅子舞取材し、動画を作りました



第1回ワークショップ(7月31日)
初山獅子舞保存会の方から、初山の獅子舞の特徴や舞のストーリー等について説明していただき、実際に舞で使用する太鼓にも触れました。

第2回ワークショップ(8月7日)
チームを編成し、絵コンテ等を基にして実際に映像制作に取り掛かりました。インタビューや撮影のアンクル・距離感、音の反響など、子どもたち自ら試行錯誤して取り組みました。



獅子舞の練習見学
親獅子(以前の舞子)から振り付けや歩幅などについて指導を受けながら、繰り返し踊りの練習に励んでいる姿は真剣そのもの。インタビューや練習風景の撮影を行いました。

第3回ワークショップ(8月23日)
実際の映像制作に取り掛かりました。テロップやナレーション、BGM等、獅子舞の魅力がより伝わるように趣向を凝らし、チームで協力して動画を完成させました。



子どもたちの取材や発表の裏側



自分で調べてきたことを質問。丁寧に答えてくださる保存会の小金井さんの言葉を参考に動画を作成。



宮前区民祭で自分達が作った動画を紹介する子どもたち。大変な所、楽しかった所を伝えていました。



あかり

楽器の人と歌をうたっている人もいきびったりだし、じっさいの練習は見ごたえがあっておもしろかった。



みり

みんないきびったりですごかった。練習をしているところはおもっていたよりはくりよくがあった。



しゅり

ふえもえんぎをしている人も息がびったりだし、練習してきたかんじがたわってきました。相手を見ながら、ばしょを見ながら練習して「わっ、本当に一生けん命やってるな」と思いました。

初山の獅子舞を次の世代につなぐ人々

巻獅子

2頭の雄獅子(おじし)のうちの巻獅子は角が巻いている

親獅子

※以前まで舞子を担っていた方が親獅子となり、新しい舞子の指導を行う



初山獅子舞保存会の方々

玉獅子

唯一の雌獅子(めじし)は角が丸くなっている

剣獅子

2頭の雄獅子(おじし)のうちの剣獅子は角が尖っている

幣負い(へいおい ※天狗)

動画クリエイターの紹介



「初山の獅子舞を伝える」
ザ・ししまい(あいき、しゅり、じん)

舞子は、自分達と同じ小学生で、なり手が減っているという話を聞いたメンバー。ビデオを見た日、保存会の小金井会長代理に直撃インタビューしているうちに、「獅子舞って、意外に面白い!」と感じ、その思いを動画にしました。



「初山獅子舞の魅力伝えたい」
み力を伝え隊(ゆり、あがり、さゆき、はるま)

長年大切に受け継がれている初山の獅子舞。最初、獅子頭は怖い顔だと思っていた子ども達が、取材をしているうちに災いから守ってくれる頼もしいイメージに変わりました。インタビュー、ナレーション、動画編集など、初めてのことを楽しんでいました。



「初山の獅子舞の歴史」
獅子舞初山(ゆり、みり、とき)

獅子舞の基本と楽しさを伝えることをテーマに動きだし、ルーツは仏教の伎楽であることにたどりつきます。絵が大好きな子は獅子舞には1人立ちと2人立ちがあることを描き、動画編集が一番年上担当。得意を生かして動画が完成。

「初山の獅子舞」本番までのドキュメンタリー

2023年から新舞子となる子どもたちを追ったドキュメンタリー。初山獅子舞保存会が後進育成に励む様子をまとめています。



子ども動画クリエイタードキュメンタリー

夏休みにチームで協力して、江戸時代から続く「初山の獅子舞」について取材し動画をつくる「動画クリエイター」の様子をドキュメンタリーにまとめました。

